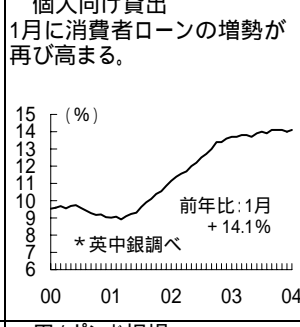
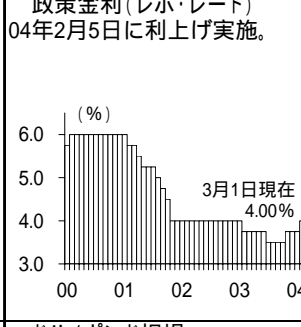
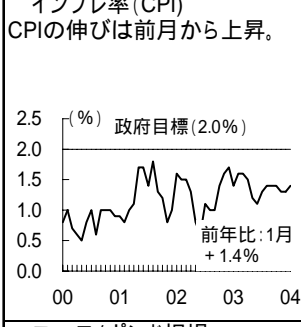
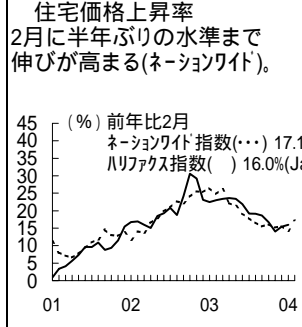
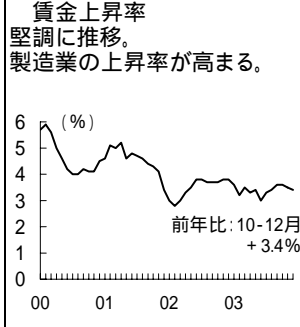
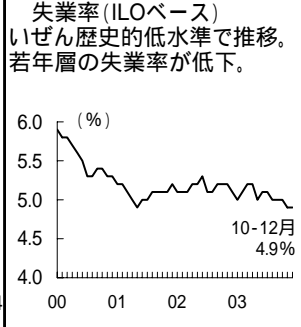
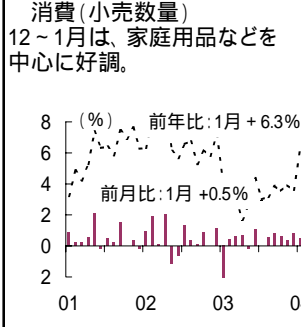
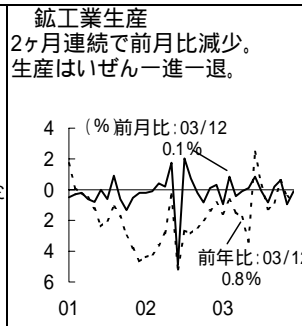
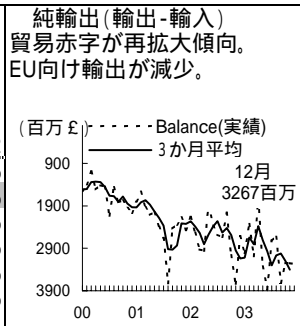
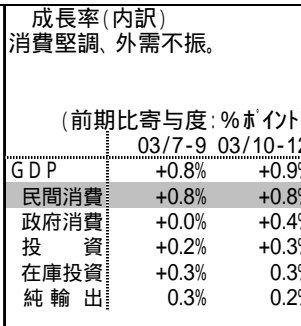
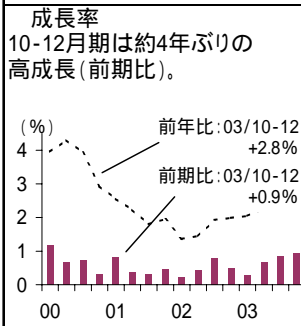


月例英国経済概況(2004年3月)

現状:消費が堅調な推移を続け、製造業の景況も回復へ。
 10-12月期の実質GDPの伸び率は、前期比0.9%(同年率3.8%)(図)。2000年1-3月期以来の高い伸び。産業別にみても、製造業が3四半期連続プラスの伸び(前期比)。
 民間消費が好調を維持するとともに、投資も拡大基調へ()。
 貿易赤字は、再拡大の兆候()。ユーロ圏経済の不調、ポンド高の影響が顕現。
 企業のマインドは改善基調。ただし、生産は一進一退()。
 消費是好調を継続()。良好な雇用・所得環境()や住宅市場()が背景に。
 ただし、個人向け貸し出しの増勢は鈍化()。
 今後:世界経済回復に伴う輸出増加などから、景気拡大が継続の公算。
 世界経済回復に伴う輸出増加が、企業部門の回復傾向を後押し。景気は緩やかな拡大を持続との見方がコンセンサス()。ただし、2005年は成長率がやや低下するとの予想に。
 ポンド高や大陸欧州の景気低調により、当面の輸出増加ペースは限定的。
 物価が低位安定している一方、消費が過熱気味に推移。
 ポンドの動向と景気への影響にも要注意。



成長率予測(2004-2005年)
 2004年成長率の上方修正により、2005年下方修正の動きも。

機関	2004年(2005年)	公表日
民間平均	2.8%(2.6%)	2/04集計
OECD	2.7%(2.9%)	11/03公表
IMF	2.4%	9/03公表
欧州委	2.8%(2.9%)	10/03公表
政府	3.0-3.5%	12/03公表(3.0-3.5%)

